中大スポーツ CHŪDAI SPORTS
9月21日 水曜日
令和4年(2022)
中央大学体育連盟機関紙
発行人 辻市 雄大
編集人 町田 航太
八王子市東中野742―1
電話 042(674)2802
第172号
SPORT

中大勢インカレ44年ぶりの連覇

中スポ

我慢の春 挫折乗り越え 悲願V

◇フリースタイル125㌔級

学生日本一を決める全日本学生レスリング選手権大会は8月15日～18日、東京・駒沢体育館で行われ、フリースタイル125㌔級で出頭海（法3）が連覇を達成。中大勢のインカレ連覇は1978年（昭和53年）以来44年ぶりの快挙となった。

全日本学生レスリング選手権大会
（8・15～18 駒沢オリンピック公園体育館）

積極的な攻撃を見せる出頭。切り込み写真はポーズする出頭
〈カメラ・若林拓実〉

◆Pando◆

レスリング部は2年前から日誌の代わりに「Pando」というサービスを導入している。主に試合の振り返りや体調確認、練習メニューを記して監督・コーチと選手が密にコミュニケーションを図るために活用している。山本美仁監督（写真）は、「日々の取り組みを見える化し、チームメイトに共有することで自分を高められている」と効果を実感。そして、「Pando」を通して醸成されたチームの雰囲気は普段の練習に変化を生んだ。山本監督は、「トップに立つという意識を持つ学生が多くなった」と感心する。古豪復活を目指す中大の新たな取り組みの成果がすでに表れている。

◆出頭の大学入学後戦績◆

年	月	大会名	結果
20	10	全日本大学グレコローマン選手権	1回戦敗退
20	12	天皇杯全日本選手権	8位
21	5	明治杯全日本選抜選手権	4位
21	6	東日本学生春季選手権（新人戦）	優勝
21	10	全日本大学グレコローマン選手権	準優勝
21	10	全日本学生選手権	優勝
21	11	内閣総理大臣杯全日本大学選手権	5位
21	12	天皇杯全日本選手権	3位
22	5	明治杯全日本選抜選手権	5位
22	8	全日本学生選手権	優勝

ライバル撃破

これまでの対戦成績は2勝2敗。実力が拮抗（きっこう）していた好敵手を力でねじ伏せた。「中学時代から対戦している選手なのでお互いの手の内は分かっていました。その中で勝てたのは自分のレスリングができたからだと思います」。

前半、攻勢を強めた隙に投げ技を食らい2失点。常人ならば力カウンター攻撃を恐れて守りに入るところだが、出頭は自身のスタイルを貫いた。「絶対に下がらない、前に出続ける」。後半も重量級を感じさせない豊富なスタミナで相手を圧倒。最後まで集中力を維持したまま8―3で頂点に立った。

挫折をバネに

連覇への道のりは決して平たんではなかった。昨年のインカレ同階級で優勝して以降、タイトルからは遠ざかっていた。さらに、今年5月の東日本学生リーグ戦では学内メンバー入りすら逃していた。山本美仁監督は、「インカレ王者をリーグ戦のメンバーから外したことはありませんでした。ただ、彼が将来もっと大きな選手になるための試練だと思い、控えに回す決断をしました」と語った。

監督が与えた荒療治とも言える挫折が、出頭の競技に向き合う姿勢を大きく変えた。「勝っていた時期の動画を見返しながら、今の自分に足りないところを洗い出しました。同時に、自分ができているところに磨きをかけ、自分のレスリングを作り直しました」。今大会で完全復活を遂げられたのも、その取り組みのたまもの。「勝てない時期はただ辛い日々だったが、今は試合を楽しめている感覚がある」。

学生枠超えて

学生王者に輝き、重量級では不動の地位を築きつつある。だが、出頭が見据えるのはその先だ。「まずは11月の全日本大学選手権で優勝して天皇杯で上位入賞したい」。苦境を乗り越えた大器が、学生界にとどまらない活躍を誓う。

（若林拓実）

韓国へ武者修行

グレコローマンスタイルで中大からは平田宗（総1）、石原三四郎（文2）、阿部光（経3）の3名が3位に入賞した。インカレ前に世界的にもグレコローマンスタイルが強い国である韓国へメンタルや技術を磨きに修行に行った中大。監督の「帰ってきてから（平田の）顔つきが変わった」という言葉通り平田は、積極的な攻めを見せ1回戦、2回戦と突破し見事入賞。今年階級を上げた石原も修行を経て技術的に成長し、投げ技や持ち前の体力で勝ち上がり、入賞を果たした。フリースタイルを得意とする阿部もグレコローマンスタイルで入賞し、レスリングに対するマルチさを感じさせた。韓国での経験が今回3名の入賞という好成績につながった。

今大会躍進を遂げた平田

学生王者に輝き、重量級では不動の地位を築きつつある。だが、出頭が見据えるのはその先だ。「まずは11月の全日本大学選手権で優勝して天皇杯で上位入賞したい」。苦境を乗り越えた大器が、学生界にとどまらない活躍を誓う。

（若林拓実）

ラーメン二郎
八王子野猿街道店2
アルバイト募集
新入生大歓迎
ラーメン食べ放題
部活会員募集
詳しくはDMで↓
@Jiro_Yaenkaido2

Center Position

「戻ってきている」

最近の人生の所感だ。居酒屋のにぎわい、フェスの声出し解禁報道、インスタグラムにアップされた海外旅行中の友人の姿。すべてが一昨年では考えられないことだ。何よりも、今春からほとんど全ての大学で対面授業が再開された。それによる学生の生活様式の変化は大きい。2020年度入学の我々にとっての〝当たり前〟だったカメラ、マイクオフのリモート授業、オンライン試験は露と消えた。日々の大学通学、対面試験はそんな出不精の学生に襲いかかる。▼よく考えると「対面授業」とは面白い表現だと思う。調べたところによると、このフレーズは2020年の3月、コロナ禍をきっかけに生まれたようだ。対面試験、対面面接もほぼ同じタイミングで生まれた言葉だ。これは、対面実施が当然だった概念にオンラインなどの非対面型の選択肢が生まれ、それが当たり前ではなくなった。それにより、リアルを意味する単語を言葉の頭に乗せる必要性が生まれたためと推察される。そう考えると、社会のあり方はコロナ以前に少しずつ戻ってきているようで、新しく変わり続け、かつての姿から離れつつあるようである。▼言葉は社会の変化に応じてぬるぬると変形していく。この捉えどころがなく、生ものの様な言葉を吟味して、記事に盛り込む面白さは、新聞部の活動の醍醐味（だいごみ）の一つでもある。ニュアンスでは言い含められない、こだわりの余地があるからだ。▼残念ながら、3年生である私が学生記者であれる期間は残り少ない。「戻って来ることのない」選手たちの学生アスリート時代という一瞬一瞬を大切にしながら、最後まで真摯（しんし）に選手と向き合い取材を続けたいと月並みながら思う。願わくば、【紙版】「中大スポーツ」新聞が発行される未来はもう少し先だといいなあ。そんな軽口をたたきながら。

（小野澤）

レイアウト 小野澤美優

◆出頭海◆ しゅっとう・かい。2001年（平13）5月9日生まれ、茨城県出身。高校3年次に三冠を達成し、一昨年中大に進学。180㌢、116㌔。座右の銘は「為せば成る、為さねば成らぬ何事も」